

# あきたの うらやましい かちど

VOL. 520  
2022.4.25

## 「大川端带状近隣公園」

令和4年度がスタートし早1ヶ月が経過しました。表紙の写真は、秋田市新屋にある公園の桜並木です。今年こそはお花見が出来ると楽しみにしていましたが、まだまだコロナの終息には時間が掛かりそうです。

今年度も「あきたの美しく豊かな農村づくり」写真コンクールを開催いたします。秋田県の持つ豊かな自然や素晴らしい農村風景の魅力を県内外の方々を知っていただくため、沢山のご応募を心よりお待ちしております。

撮影者／政策・広報班  
寺澤 藍



イメージキャラクター  
みどりちゃん

TOPIC 1 新年度挨拶

TOPIC 2 令和4年度秋田県農業農村整備事業予算の概要について



# 会長 挨拶



秋田県土地改良事業団体連合会  
(水土里ネット秋田) 会長

## 高貝 久遠

の保全管理を推進するとしています。

県においても、「あきた型ほ場整備」など複合経営化に向けた取り組みを一層強化するとともに、持続可能で効率的な生産体制の確立に向け、スマート農業に対応できる基盤整備等を推進するとしています。

本会は、こうした農業政策の推進の一翼を担い、本県農業・農村の持続的発展を実現するために、最新の農業政策に関する情報収集と分析を強化するとともに先端技術の習得等に努め、会員への充実した支援を図るほか、農業農村整備事業を計画的かつ安定的に実施するための十分な予算確保に向けて、引き続き積極的に要請活動を実施してまいりますので、皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

また、4月1日には、農業農村整備事業の充実と迅速化等を内容とした改正土地改良法が施行されたほか、秋田県の「新ふるさと秋田農林水産ビジョン」がスタートするなど、農業・農村整備は新たなステージを迎えていることから、私ども役職員一同、気を引き締め、総力を挙げて業務にあたってまいりますので、今後とも、なお一層の御支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

結びに、皆様の御健勝と御活躍、そして新型コロナウイルス感染症の1日も早い終息を心から御祈念申し上げ、年度初めの挨拶といたします。

爛漫と咲き誇る桜並木が、春の青空にひとときわ映え、気持ちも華やぐ好季節を迎えております。

会員の皆様におかれましては、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より農業農村整備事業の推進に御尽力をいただくとともに、本会の業務運営に特段の御支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本県の農業は「米依存からの脱却」に向けた取り組みにより、園芸品目の生産が拡大し、複合型生産構造への転換が進んでいるほか、今年、水稻の新品種「サキホコレ」が本格的に市場デビューするなど、成長産業化に向けて着実に前進しております。

一方で、国内の農業・農村をめぐる情勢は、高齢化や人口減少による農業者の減少と農村集落機能の低下、コロナ禍の影響による米の過剰在庫や米価の下落、大規模自然災害の頻発化・激甚化等の課題を抱えているほか、日米貿易協定やRCEP協定などの相次ぐ発効による新たな国際環境に対応するため、農業の国際競争力の強化も求められています。

こうしたなか国では、「人口減少下で持続的に発展する農業」と「多様な人が住み続けられる農村」を農業・農村が目指すべき姿とし、その実現に向けて農地の集積・集約化、高収益作物への転換、農業水利施設の機能

## 水土里ネット秋田新役員の紹介

令和4年4月1日就任

(任期：令和4年4月1日から令和7年3月31日まで)



### ◆理事

瀬川 等

◎湯沢雄勝土地改良区  
理事長

### 目次

### CONTENTS

会長挨拶	2	女性事務局長に聞く！土地改良区リレーインタビュー	14
水土里ネット秋田新役員の紹介	2	(秋田県仙北平野土地改良区：事務局長 坂本 由美子)	15
秋田県農林水産部新任挨拶	3	随想(由利本荘市矢島町土地改良区：職員 佐藤 京子)	15
令和4年度秋田県関係機関の紹介	5	秋田の土地改良519号についてお詫びと訂正	15
令和4年度土地改良関係課機構図(秋田県)	6	連合会日誌	15
令和4年度秋田県農業農村整備事業予算の概要について	7	水土里レポーターによる写真投稿	16
令和4年度事務局機構図及び職員配置	8	(湯沢雄勝土地改良区(稲川支所)：主事 柴田 大翔)	16
水土里ネット秋田新任職員の紹介	10	水土里のゴミゼロDAY(開催予定)	16
「水田活用の直接支払交付金」の厳格化見直しへの要請活動	11	会員だより	16
ため池に関する相談について～秋田県ため池保全サポートセンター～	11	「全国水土里ネット女性の会」会長の就任について	16
第23回「あきたの美しく豊かな農村づくり」写真コンクール	12	リレー感想文	16
おらほの自慢っこ～来てくれ！秋田市～	12	編集後記	16
(秋田市観光文化スポーツ部観光振興課：主事 久米 竜矢)	13		

# 秋田県農林水産部 新任のご挨拶

## 農林水産部 次長

### 舩谷 雅広

水土里ネット会員の皆様には、日頃より本県の農業農村整備の推進に御理解と御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。令和元年度から昨年度まで農地整備課長を3年間務め、この度、農林水産部次長に就任いたしました。農地整備課長時代は、コロナ禍により、会員の皆様と膝をつき合わせてお話しさせていただく機会が少なく残念な思いでございましたが、一刻も早いコロナの収束を願うとともに、コロナ後に会員の皆様と忌憚のない意見交換ができる日を心待ちにしておりますので、引き続きよろしくお願いたします。

さて、コロナ禍やウクライナ情勢など、国内外において予断を許さない状況にある中、本県が日本の食料供給基地としての役割を果たしていくことの重要性が一層問われているように感じています。こうした中、あきた型ほ場整備をはじめとした農業農村整備事業は、収益性の高い複合型生産構造への転換や担い手への農地集積を促進するとともに、スマート農業の推進を図るなど、食料供給力を強化する上で必要不可欠であり、県政運営の新たな指針「新秋田元気創造プラン」においても、引き続き重点施策として進めていくこととしております。また、農業・農村の持つ多面的機能の維持・発揮や中山間地域の活性化、ため池の防災減災対策や田んぼダムによる流域治水対策等においても、水土里ネットの果たす役割に期待する声が年々増していると感じております。

今後も皆様と共に、本県の農業・農村の発展に向け全力で取り組んで参りますので、より一層の御支援をよろしくお願いいたします。



## 農地整備課長

### 大山 泰

水土里ネット会員の皆様におかれましては、日頃から、本県の農業施策の推進に御理解と御協力を賜り、また、農業農村整備予算の確保に多大なお力添えをいただいていることに深く感謝申し上げます。4月より農地整備課長を拝命いたしました。よろしくお願いいたします。

さて、県では、この3月に「～大変革の時代～新秋田元気創造プラン」を策定いたしました。農林水産戦略では、食料供給力の強化や農山漁村の活性化などを4年後の目指す姿として掲げ、農業農村整備分野においては、産地づくりやスマート農業を支える基盤整備や中山間地域における園芸振興などに重点的に取り組むこととしております。

こうした中、ロシアのウクライナ侵攻を引き金として、世界的な食料需給の構図の変化が想定され、多くを海外に依存している我が国においては、食料の安全保障がより大きな命題となっています。広大な農地を有する本県におきましては、生産性の高い農業を持続的に展開し、多様な農産物を安定的に供給していくことが何よりも重要と考えております。

このため、農業生産を支える農地等の基盤を将来に確実に引き継ぐべく、整然で機能的な美しいほ場を築き上げるとともに、清冽で潤沢な水を湛える用排水システムを守ることに軸足を置きつつ、ICT化など効率的営農の将来的な展開を見据えた整備など、時勢に鑑みながら農業農村整備事業を力強く推進してまいりたいと考えております。

農業をとりまく情勢が目まぐるしく変わる中、農業農村整備もしっかりと対応していく必要があります。現場の声に耳を傾け、きめ細かなニーズに可能な限り応えていくよう努めてまいりますので、会員の皆様におかれましても、引き続き、御指導・御支援のほどよろしくお願いいたします。





## 農山村振興課長

### 佐藤 大祐

水土里ネット会員の皆様におかれましては、農業農村整備事業や日本型直接支払等をはじめとする地域政策の推進に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年4月より農林水産省より出向し、本年4月より農山村振興課長を拝命いたしました佐藤と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

私は、本県への出向前、農村振興局にて、食料・農業・農村基本計画のうち農村政策部分の策定や、新しい農村政策の在り方に関する検討会の運営に関わってきました。その中で、日本全国の農山漁村に消えない火を灯せるような仕事をしたいという、農林水産省という職場を志した時から変わらない思いを実現させるため、日々模索してきました。

早いもので、本県に来てから1年が経過しましたが、霞ヶ関と県の大きな違いの一つは、現場との距離の近さであるということを感じております。こうした利点を最大限に活かしながら、施策を作って終わりではなく、積極的に現場に足を運び営業し、伴走し、ともに考えていけるような働き方を目指していきたく思っております。

本誌をお読みの皆様一人一人とも、秋田県の農山漁村の明るい未来の創造に向けて、たくさん議論させていただけたら嬉しいです。

人口減少・高齢化により、秋田県の農山村を将来にわたって維持できるのか、その大きな分岐点に立っておりますが、課題先進県である秋田県の挑戦が、日本全国の農山村を救うモデルとなる、という強い意識を持ちつつ、全力で取り組んでまいりますので、一層の御支援と御協力をお願いいたします。



## 農地整備課 政策監

### 足立 徹

水土里ネット会員の皆様におかれましては、日頃から、本県の農業農村整備施策の推進に御理解と御協力を承り、厚く御礼申し上げます。

この度、農林水産省から参りました足立と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

これまでの任地は東京都、宮城県、徳島県、タイ国などで、いずれの場所でもかんがい排水事業関係を担当することが多く、その都度、現場や全国の土地改良区の皆様から御指導・御支援をいただきながら、ダムや用水路の工事、事業の計画、事業の推進、新たな制度の設計、二国間かんがい技術交流などに携わってまいりました。

そしてこの春、日本を代表する農業県である秋田県において、その農地を潤す水の管理を担う水土里ネット秋田の会員の皆様とともに、農業農村整備を進める機会に恵まれたことに、感謝の念が尽きません。収益性の高い農業の実現に向けたあきた型ほ場整備の推進、ICT技術を活用した水管理の普及などを含め、将来の秋田県農業の展開に向け、少しでも皆様のお役に立てるよう、一步一步進めていきたいと思ひます。

さて、御周知のとおりと存じますが、令和4年度の農業農村整備事業関係の予算につきましては、令和3年度補正予算と合わせると6,285億円となり、前年度と同程度の予算が確保されました。また、本県の令和4年度当初執行予算は、事業費ベースで359億円となり、6カ年連続で310億円以上の予算を確保しております。

これもひとえに本会の会員の皆様が各方面に現場の声を届けていただいた賜物であり、心から感謝申し上げますとともに、現場のニーズを十分に反映した予算確保が出来るよう引き続き努めてまいりますので、御支援・御協力をお願いいたします。

